



Share Rotary—  
Serve People

みんなにロータリーを  
みんなに奉仕を



会長 内山喜一 幹事 齋藤 隆 副会長・クラブ奉仕 佐藤順治 職業奉仕 石川寿男 社会奉仕 佐藤 衛 国際奉仕 三井 健 青少年奉仕 小池繁治

出席報告：会員 74 名 出席 54 名 出席率 72.97 % 前回出席率 70.27 % 修正出席 64 名 確定出席率 86.49 %

### 会 長 報 告

#### バーミンガムで開かれる国際ロータリー1984年国際大会への公式招待状

内 山 喜 一 君

ロータリー史上、初めて、イングランドで国際大会が開かれます。英国では一度国際大会が開かれたことがあります。1921年のスコットランド・エジンバラで開かれた国際大会です。1984年6月3日～6日にかけて、この「緑の豊かな楽しい国」の中央部で、ロータリーの世界家族が、より一層みんなに奉仕することができるように、みんなにロータリーを分かち合う特別な機会を持つこととなります。

私は、全ロータリアンに、イングランド、ウエスト・ミッドランズ州バーミンガムで開かれる1984年国際ロータリー国際大会に是非出席されるよう要請します。

国際大会は、空陸に交通の便の良い、立派なNational Exhibition Centreで開かれます。国際大会では、世界的な著名人が主要なテーマについて講演することになっており、英国風の盛儀盛宴と和

やかな親睦とにあふれた大会となることでしょう。

このExhibition Centreの近くにバーミンガムが位置しています。バーミンガムは、過去、現在、未来にわたり、国際交易に輝かしい貢献をしています。周辺にはイングランドの真髄が存在します。シェクスピア誕生の地、城と荘園、世界的に有名な陶器製造地、なだらかな農村風景などであります。

ここ、イングランドの中央部で、私達は、ロータリーの核心である奉仕を探り、広げるまたとない機会に恵まれるのです。私から皆様に送る、この招待状に応じて、この歴史的なロータリーの催しに是非ご参加下さい。

国際ロータリー会長

ウィリアム E. スケルトン

### 幹 事 報 告

齋 藤 隆 君

#### 1. 例会時間変更のお知らせ

遊佐ロータリークラブ いも煮会の為

10月11日(火) 午後6時30分より

遊佐町商工会館にて 会費 2,000 円

#### 2. 会報到着 東京ロータリークラブ

## 職業奉仕と渋沢栄一の事業観

小 池 繁 治 君

#### 10月1日～10月31日職業奉仕月間

渋沢栄一(1840～1931)は、日本資本主義の進展と共に歩み、国家的見地から実業界を指導した実業家。埼玉県生れ。幕末期には尊攘運動に参加。の

ち一橋家に仕え1967(慶応3年)幕臣として徳川昭武に随行してパリ万国博を機に渡仏。欧州諸国の近代産業組織制度を見聞、維新後は大蔵省に出仕、財政金融制度など立案・改革に当る。1973(明治6年)井上馨と共に退官、第一国立銀行を創立。ついで多

庄内空港の建設を推進しましょう

くの国立銀行、私立銀行、東京商法会議所等の設立に関与、産業面で王子製紙、大阪紡績の設立をはじめ、あらゆる分野の事業に関与、営利事業の数は500余りで、国際親善、社会事業、福祉施設、宗教関係、学校教育、労資協調などの非営利事業は600余りの創立に直接間接に関与した、明治が生んだ近代日本を創った巨星である。

その事業観は、海外で学んだ三つの柱で、

(1) 官民平等

徳川昭武の渡仏に随行した時、当時のナポレオン三世は二人の世話役をつけてくれた。その一人はヴェレットと云い、陸軍大佐。もう一人は市中銀行のオーナーのフロリヘラルドであり、そのお互の話の中から、官も民も平等であらねばならぬと確心した。

(1) 合本組織の確立

近代ヨーロッパ諸国の経済発展と株式組織を見聞し

(3) ベルギー国王のビジネスに対する姿勢

レオポルト一世からアントワープの鉄工場の話が出て、実業の重要性を教えられた。

事業を拓くための四つの要件

- (1) その事業の成立すべきや否や
- (2) 私を利すると共に社会を利するや否や
- (3) 時期に適合するや否や
- (4) その人物のあるや否や

“論語と算盤”の著書の中での言葉

(経済道徳合一説)

その富を成す根源は何かと云えば仁義道徳、正しい道理の富でなければ、その富は完全に永續することは出来ない。ここに於て論語とそろばんと云うかけ離れたものを一致せしめる事が今日の緊要の務と自分は考えている。

国鉄に対する意見

明治23年から表面化した鉄道の国有化には終

始一貫に反対した。米寿をむかえた思い出の回数の中で残念に思った事の一つに、鉄道を多く敷設しようとして民営鉄道法を制定したかったが、これと反対に国有となったので、その法を実施する事が出来なかった事をあげている。そして何故国有に反対したかについて、総て事業と云ふものは競争があり、それが世の便益と改良とを産み出すもので、すべての進歩は競争より外にないものだ。鉄道を国有にする事の利点も勿論数えられるけれど、その弊害は恐るべきものである事を憂えて反対した。

ロータリークラブでのお話

大正13年、田園調布地区に児童遊園地多摩川園を建設、その頃ロータリークラブの会員が東京市養育院の児童全員を多摩川園に招待して子供たちを慰安した。そこで院長であった渋沢栄一は同園で挨拶した“人間は嬉しかった事、苦しかった事を後までよく覚えていて、自分を励ます材料にしてゆかねばならない。苦しかった事もすぐ忘れ奮発心を燃す薪にしなかったり、今日のような嬉しさも深くかみしめずに、その場限りで忘れるようでは総てのことが心の栄養になりませんよ”

渋沢栄一のこのような事業に対する考え方は、ロータリーの綱領の実業及び専門職業の道徳的水準を高め、職業を通じて社会に奉仕するために、その職業を品位あらしめる事に合致しているものと思う。ここにポール・ハリスより以前にわが国でこのような先人のいた事を銘記して、各自の職業に反映すれば、ロータリーの職業奉仕を実行することになるのではないだろうか。

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 桜井 清君・阿部光男君

(今週の担当者 嶺岸光吉)